

東北文化学園大学看護学科紀要投稿規定

東北文化学園大学医療福祉学部
看護学科紀要委員会

1.名称

本学科が発行する機関誌の名称は「東北文化学園大学看護学科紀要」とする。

本誌は、本学医療福祉学部看護学科の研究活動の一環として設けられたものであり、学術研究の発展と教育の向上を図ることを目的とする。

2.投稿資格

本誌の投稿は本学科の教員（非常勤を含む）、大学院生、卒業生、修了生、およびその共同研究者、あるいは紀要委員会が依頼した執筆者とする。

3.原稿の種類

1) 掲載する原稿の種類は以下とする。

総説：最近の学術的・技術的知見や成果を、歴史的背景、重要性、進捗状況、将来の方向等を踏まえつつ、総合的に論述したもの。

原著：新しい知見が論理的に示された独創的研究。

報告：主題に沿って行われた実験及び調査の報告に値する研究。

その他：研修報告など、紀要委員会が許可したもの。

2) 1) のいずれとして掲載するかは、投稿者の申請および査読結果を考慮し紀要委員会が決定する。

3) 原稿は、原則として別途定める執筆要項に従って作成する。

4.論文の投稿・受理

1) 投稿者は、紀要委員会が指定した方法にて原稿を提出するものとする。

2) 投稿原稿は他紙に未掲載のものでなければならない。

3) 査読等で期間を要する場合、次年度の投稿として扱うことができる。

5.査読

1) 原稿が投稿された場合、紀要委員会は適任者 2 名を選出し、査読を依頼する。

2) 紀要委員会は査読結果にもとづき、投稿原稿の採否、修正指示等の措置を決定する。ただし、投稿論文が投稿規定をはなはだしく逸脱している場合は、査読を経ずに編集委員会が論文を投稿者へ返却することができる。

6.著者校正

著者校正は 1 回とする。ただし、採択された原稿からの改変となるような加筆削除等は原則として認めない。

7.発行

- 1) 本誌はオンラインジャーナル(ISSN 2760-1072)として年一回発行し、発行日は3月末日とする。
- 2) 本誌の発行者は東北文化学園大学医療福祉学部看護学科とする。

8.倫理的配慮

人および動物が対象である研究は、主たる研究者が所属する施設の倫理委員会の承認を得ていることを明記するとともに、研究対象者への倫理的配慮の内容や手続きについて具体的に記載する。

9.著作権

本誌に掲載された論文の著作権は発行者に帰属する。なお、掲載された論文は、「東北文化学園大学機関リポジトリ」、その他発行者が適切と判断するウェブサイトに登録・掲載する。

10.利益相反

研究内容に影響を与える可能性がある金銭的利益やその他の利益との関係がある場合は（例 研究費・特許・報酬などを含む企業等との関係）、その具体的内容を論文の末尾に明記する。また、研究が研究費の助成を受けて行われた場合は、その助成内容を論文の末尾に明記する。

執筆要項

1. 記述

1) 原稿はA4版で横書きとする。書式は1頁40字×40行(1600字)、明朝体(アルファベットはcentury)、フォントサイズ10.5、ページ番号を挿入する。

2) 常用漢字や新かなづかいを用いて執筆し、常用漢字は「医学用語辞典」(日本医学会編)などできるだけ従うものとする。論文中の人名は原則として原語で、数字はすべて算用数字で、日本語化した外国語はカタカナ(この場合「」は不要)で記載する。他領域の読者に馴染みがない略語を要旨または本文で用いる場合は、それぞれで初出のところで説明する。また、このような略語を論文タイトルに用いてはいけない。

3) 原稿の構成は以下とする。

I. はじめに

II. 研究目的

III. 研究方法

IV. 結果

V. 考察

VI. 結論

VII. 利益相反・著者役割等

VIII. 文献

段落番号を付す場合は1.2.3.とし、さらに細分化する場合は1) 2) 3)、①②③の順とする。

4) 要旨

①総説、原著、報告、その他には400字以内の和文要旨をつける。途中で改行は加えない。

②原著論文のみ400語以内の英文要旨をつける。途中で改行は加えない。

③和文英文ともに、要旨の末尾に5語のキーワードをつける。キーワードは、検索にかかりやすい用語で、論文タイトルにないものとする。

5) 図表

図、表はそれぞれ種類ごとに通し番号と表題(図の説明がある場合は、表題以外に図の説明も)を付し、本文原稿右欄外に挿入希望位置を示す。

図・表は、1ページに1点として作成し本文とは別に巻末にまとめる。

6) 文献

原則として、文献の記載形式は以下①～③を参考に、アメリカ心理学会(American Psychological Association, APA)発行の『Publication Manual of the American Psychological Association』(APAスタイル)に準拠するものとする。ただし、他の学術雑誌において一般的に良く用いられている記載形式を用いても構わないが、いずれにしても記載形式は論文中で必ず一貫していること。

①本文中の文献の表示方法

引用文献は、引用箇所には著者名、発行年次(西暦)を括弧表示する。著者が2名までの場合は、全員の名前を記入する。3名以上の場合は筆頭著者名のみを書き、以下は「他」または「et al.」とする。同一著者に同一発行年次の文献が複数ある場合は、発行年次の後に小文字のアルファベット(a,b,c …)を付けて区別する。

②本文末尾の文献欄の記載方法

引用文献は、本文末尾に筆頭著者名のアルファベット順に列記する。但し、著者名は3名まで表記し、以下は「他」または「et al.」とする。

③記載方法の例示

<雑誌>

著者名.(発行年次). 表題名. 雑誌名. 巻(号), 開始頁—最終頁.

洋文献例: Cohen CC, Cohen B, Shang J, et al. (2015). Effectiveness of contact precautions against multidrug-resistant organism transmission in acute care: systematic review of the literature. *Journal of Hospital Infection*. 90, 275–284.

※雑誌名、巻は標準書体。

<書籍>

著者名.(発行年次). 書名. 出版社名, 出版地, 開始頁—最終頁.

<書籍(編集書)>

著者名.(発行年次). 表題名. 編者名(編). 書名. 出版社名, 出版地, 開始頁—最終頁.

<電子文献(Web サイト)>

DOI がある学術論文

著者名.(出版年). 論文タイトル. 収載誌名. 巻(号), 開始頁—最終頁. DOI 番号.

Web サイトまたは Web ページ

著者名または発行機関名.(投稿・掲載年次). Web ページタイトル. URL [アクセス年月日].

7) 利益相反・著者役割等

①申告すべき利益相反事項の有無にかかわらず、以下の例に従い利益相反に関して必ず申告する。

例1. 本論文に関して、開示すべき利益相反事項は存在しない。

例2. 本研究は、□□(苗字のみ、同姓がいる場合は氏名)が○○社より受託した委託研究の研究費で実施された。

例3. ○○(苗字のみ、同姓がいる場合は氏名)は、△△として×××団体より報酬を受けている。

②共著者ほどの貢献はないものの、謝意を表すべき人・団体・施設があれば具体的に謝辞を記載する。また、本文中に記載しなかった事項で、配慮を示すべき内容があれば具体的にその内容を記載する。

③研究が研究費の助成を受けて行われた場合は、その助成内容(助成を受けた著者の苗字[同姓がいる場合は氏名]、助成機関、助成番号など)を記載する。利益相反事項で記載済みであれば、重複して記載する必要はない。

④各著者の役割について、以下の例に従って必ず記載する。著者名は同姓がない限り苗字のみ

とする。

例. 国見は研究の構想やデザイン、〇〇はデータ収集、△△はデータ分析および解釈、宮城と仙台は論文執筆と論文最終化、××は研究プロジェクトの管理と研究資金獲得に貢献した。

2. 投稿手続き

1) 電子投稿を原則とし、原稿は **Word** ファイルで提出する。「紀要投稿用紙」「論文(正本)」「論文(副本)」「投稿チェックリスト」の4つのファイルを添付し、下記投稿アドレスに送信する。(「紀要投稿用紙」「投稿チェックリスト」の様式は、下記投稿アドレスに請求ください。)

2) 論文原稿 2 部(正本と副本)のうち、副本は著者名・所属名等の著者が特定できる文字情報を●で置き換えたものとする。

【原稿送り先】

東北文化学園大学看護学科紀要委員会宛にメールにて送付する。

kango-kiyou@ns.tbgu.ac.jp (送信時は@を半角に変えてお送りください。)

令和 7 月 8 月 21 日改定